

御発言者	種類	内容	反映先
委員	事前意見	少しでも多くの人結婚へのハードル(物価高など将来における資金の課題等)を感じないような施策へのPRも強化する必要がある。	1
委員	事前意見	結婚することで今後どのような市の施策(サポートなど)の対象になりうるのか、結婚後の生活の充実や幸福を想定できる八戸であって欲しい。	2
委員	事前意見	あおもり出会いサポートセンターの市民登録者数を増加させるため、利用登録料助成は有効と思料する。	3
委員	当日意見	婚姻率に関しても人口1,000人に対する婚姻件数の割合となっているが、いわゆる本当に婚姻に関係する方の率で出された方が実態として把握するうえでは良いのではないか。	4
委員	事前意見	地域によって学童の時間帯や日程が異なり、不満、不公平感があると聞いている。	5
委員	当日意見	学校の外壁について、例えば、八戸小学校など外壁がグレーであるため、ダークなイメージがある。特に八戸小学校は、市の中心地であるがあそこを通る度にどうなっているんだろうと思う。もう少しきれいに、子どもたちが気持ちよく、心晴々に通えるようなカラーにできないものか。	6
委員	当日意見	特別支援アシスタントについて、気になる子どもたちが増えている割には、複数配置するという普及率は、きちんとなっているのかなと見受けられる場面がここ数年続いている。その子たちのケアについて、小学校に行くと職員数も少なくなり、充実した学習活動ができているのかと思う。また、先生方の負担がすごく感じるときがある。	7
委員	事前意見	学区に依存するような小・中に関しては、どこの学校に入っても子どもたちが希望するクラブ活動ができるように地域の人材や団体と子どもたち(親御さん含む)の仲介的な役割を担う必要がある。	8
委員	当日意見	地域の人材・団体と学校教育の連携事業や取組に関する事業が年々増えていることを実感している。地域移行に取り組む団体の活動を先行事例として、協議会や事業を取り組むときに発信・共有を検討してほしい。	9
委員	事前意見	学生時代から郷土愛を醸成することは、将来県外に就職してからUターンするきっかけのひとつになりうることから、大切な取組である。	10
委員	事前意見	藤井フミヤ展は盛況に終わったと聞いている。県外からの来場者もあった事により、八戸市内の観光にも繋がったと思われるため、相応に有名な画家、アーティストの展示会は積極的に開催すべきと考える。	11
委員	事前意見	八戸市美術館のHPにあるコンセプト内に「学校連携」について、例えば取組として、小・中学校において学校単位での美術館訪問や鑑賞機会を設ける等により、芸術に触れあう機会創出、芸術（豊かな人間性・感性）醸成に繋がるのではないか。	12
委員	事前意見	施設同士の連携や地域で活動する団体を巻き込んだ盛り上がりがあると、より楽しく施策の目指す姿である「市民のスポーツ活動の促進」がより図れるのではないか。例えば将来的に八戸市体育館と中心街活性化に関わる取組の連携が図られるとより良いまちになるのではないか。	13

御発言者	種類	内容	反映先
委員	当日意見	農業と畜産業を比べたとき、農業はたくさんの事務事業があるが、もう少し畜産業にも事業内容を盛り込んでもいいのではない か。農業と畜産を比べたとき、事業が極端に少ないことで逆にPRが出来にくく、住民の畜産業に対する理解度も低いものと思う。 もう少し事務事業を増やせば、畜産業をやっている方も心強いのではないか。	14・15
委員	事前質問	ポートセールス事業の今年度の支出は750万円ということで、資料に出ているが、特に「商談成立件数」に対してこの750万円とい うのは、費用対効果的にはこれで想定通りだったのか。	16
委員	事前意見	「首都圏でのスキルを地元に戻って活かすことができる職業」に転職をすることができず、またその環境や条件がないためUターン を諦めている知人も少なからずいるのが気になる。	17

御発言者	種類	内容	反映先
委員	当日意見	不法投棄対策について、大変御苦労なことだと思うが、引き続きよろしくをお願いしたい。	18
委員	事前質問	能登半島地震の災害ボランティアに行った方の体験談で印象に残っていることは「支援活動をしたい被災地以外の人たちとコーディネートできず混乱する現場」、「避難所を圧迫する支援物資」の課題だった。	19
委員	当日意見	企業や団体との災害時の協定に関する相談窓口や協定締結企業に関して、団体のスキルを活かした支援やスムーズな対応について、八戸市で柔軟性のある取組をされているのかを疑問に思い、事前質問させていただいたが、こういう取組をしているところと協定を結ぶ流れをどんどん取り組んでいただければと思う。	20
委員	当日質問	消防団員の加入者を増やしていくというところで、消防団の組織の見直しとあるが、この見直しはどのようなふうな見直しの方向性があるのか、また、令和５年で新規加入の消防団員は、何人ぐらい加入しているのか。	21
委員	当日意見	様々な地域から、道路が暗いと聞いている。防犯上も良くなく、安全上子どもたちが塾等で遅い時間に一人で帰らざるを得ないとき、道中は暗い。そういう声がちゃんと市に届いているのか。とても大事なところであるため、お願いしたい。	22
委員	当日意見	防犯灯で、町内会など希望するところはつけていると説明があったが、やはり暗いと思う。学校の範囲に対して照明の明るさというか、市でこの分では不足しているという形で教えてあげた方がいいのではないか。	23
委員	当日意見	歩道に側溝の蓋があるが、その側溝の蓋が結構ボコボコになっている。小学校低学年の子たちが、ますの間が広いところで、足を引っかけた道路の方に転んだとなると非常に危険だと思う。非常に気になっていたところなので、できればその歩道に対しての側溝や路面の状況も改善して欲しい。	24
委員	当日質問	防護柵はどのぐらいの範囲でカバーされているのか。吹上小学校の通学路で、その家には防護柵がなかったような気がするが、どれ程度設置しているものか。	25
委員	当日意見	健はちプラスは他者と競い合う楽しさがある。ポイント応募がモチベーションになる。最近はログインの状況が1,500人前後で、しばらく横ばいだと感じていたので、もう少し利用者の増加、広がり期待をしている。	26
委員	当日意見	登録のときにざっくりと居住地域（八戸、田子、青森県外等）の登録ができれば、エリア毎にこんなに歩いている人がいるんだという発見やモチベーションにはなるのではないか。	27
委員	当日意見	がん検診率について、民間と合体した数字というのは出ていない。民間にも人数が行っているので、がん検診の率を共有して、こういったデータに載せると、もっと伸びているのではないか。	28
委員	当日意見	がん検診の数字の集計に関して、デジタルなら簡単にできるのではないか。	29
委員	当日意見	がんの早期発見について、市民病院の高度医療ということであれば、八戸市民病院にPETの設置できれば、もっと早期発見率が高くなるのではないか。	30

御発言者	種類	内容	反映先
委員	当日意見	若者が活躍できる事業・施策が多くあると思っており、八戸の若手を育てる環境は恵まれていると感じている。引き続き、学生はじめ若手の方々がまちづくりに関わっていきやすい策をお願いしたい。	31
委員	当日意見	高齢化社会と言われている中で、肉体労働者の定年が65歳まで平均が延びている。現場では65歳まで肉体労働で仕事をしているのが、きついという方がどんどん離職をしている。ただ、年金をもらうまでどうやって生活をつないでいくかということを、非常に問題視している部分があるため、シルバー人材等、もうちょっと幅を広げて、体力に合った仕事を紹介できるような、就業できるような、ハローワークと連携を取りながら進めてほしい。	32
委員	当日質問	障がい者雇用率の件で、八戸公共職業安定所管内における企業数というのは、八戸市に拠点がある、会社を構えている法人が分母になっている理解で合っているか。現在、法律では障がい者の雇用に関して、企業の責任でそこをケアしてくださいと変わってきており、雇用しなければいけないというニュアンスに変わっている。	33
委員	事前質問	L G B T等に関する理解促進について、国や各自治体単位でも同時に取り組まれているなかで、地方では保守的な文化や価値観との共生や相互の歩み寄りに課題が多くあるのではないか。それらを踏まえて市では施策でどのような工夫をしている、または今後取り組んでいくことを検討されているか。	34

御発言者	種類	内容	反映先
委員	当日意見	道路や歩道を良くしても、買う所も見るともない。イベントだけに頼ったまちづくりでは、平日の人出はどうなってしまうのか。平日でも人の流れが途絶えないような形でやればいいのか。貸す側と借りたい側のギャップとして、こういったものがあるのか。	35・36
委員	事前意見	中心街への来街者数は、本来Ｒ５はコロナ明けの年度であるため増加した数字になると思料するが、コロナ禍よりも減少したことは施策設定時より想定外の事象発生ならびに想定以上のスピードで環境が悪化していると思われる。もっとスピード感を持って進め、場合によっては追加策を打っていく必要がある。	37
委員	当日意見	バス利用のシーンで、高齢者に中心街で降りてもらえるような憩いの場とかを作ると、まちの活性化にもつながるのではないかな。	38
委員	事前質問	車いすの利用者やベビーカーをひいている方など、中心街を歩く方々から歩道が歩きづらいと意見をよく耳にする。中心市街地の歩道の維持修繕については、現状の計画に組み込まれているか。	39
委員	当日意見	各町内、高齢者がかなり多くなって、草刈りをできるような状況ではないというところもあり、町内の人口・世帯数も減ってきているという中で、今の時期はとても暑く、高齢者にしてみると熱中症などの心配もあるため、新しい展開なども含めて考えていただきたい。	40
委員	当日意見	ハチカの導入により、料金支払い時の手間の簡略化や利便性の向上が実現し、バス利用がより手軽になるのではないかな。利用者ニーズ、住民の声というのは、どのようなプロセスを経て意見が集められてバスの運行計画に反映されているのか。	41
委員	事前意見	高齢社会になり免許返納をする高齢者も増えているなか、コミュニティ交通をはじめとする公共交通の移動手段は、高齢者の生活にとって必須であるとともに社会的孤立のリスクの軽減や心理的・身体的安心感にも繋がるため、継続的な取組をしてほしい。	42
委員	当日意見	「買い物弱者」や「買い物難民」と呼ばれるような、足がなくなって生活が大変になったという方の声を、たくさん聞くことがあったため、買い物難民にも優しい公共交通の在り方を、引き続き検討してほしい。	43

御発言者	種類	内容	反映先
委員	事前意見	ワインを商売、文化にしていくことは長期的な投資目線が必要であるが、ワイナリーがある市町村はそれだけで全国への発信になる。将来の達成規模と補助支援並びにイベント支援とのバランスを考えながら成功に繋げて欲しい。	44
委員	当日意見	是川縄文館に無料ガイドがいるということを知っている人は、結構少ないと思う。そういったところを活用していけば、市内外の方からは川縄文館に来ていただいて、より知識を得て外に発信していただけるのではないかな。	45
委員	当日意見	長七谷地貝塚について、国の史跡になっていると思うため、同貝塚と縄文で連携して何かできたら良いのではないかな。本当は遺跡群に入れた方がいいぐらい貴重な所で縄文について熱心な人には刺さる所らしく、一緒に案内などができたらより良いのではないかな。	46
委員	当日意見	オリジナルダンボールについて、「皆さんにもっと八戸市を知ってもらいたい」ということで作っているのであれば、もうちょっと工夫があってもいいのではないかな。仕事で市外に商売のものを送ったりするときでも使えたらと思うが、どういうふうなときに使われているかが分からない。	47
委員	当日意見	SNSは広がる年齢層に結構影響があると思うため、今後の使い方に依るものがある。	48
委員	当日意見	観光・誘客を増やすということで、8baseは都市部で大事な所だと思っている。	49
委員	当日意見	水産関係者から、売上げは下がっているが、八戸が漁獲量日本一という話を聞いた。私の園では「いかのまち八戸」を子どもたちがずっと踊ってたが、もういかのまちとは言えないと思って止めていたところである。そのような中、八戸が一番と聞いて、今年の夏から踊るようになり、やはりもう少し「一番」ということを、みんなが認識しておくことが大切ではないかな。	50
委員	当日意見	観光に関して市をはじめとした関係各所との連携強化の必要性を改めて感じた。それらを含めて、おもてなしの心を持った市民の活動が横でつながることができる機会を、これからも創出していただければと思う。連携する機会をもっと増やしてほしい。	51

御発言者	種類	内容	反映先
委員	当日意見	若い方で隣町に行くことは、子育てと生活費、経済面でも優遇されるということがあるらしいので、そういったところも、今後八戸としても考えていった方がいいのではないか。	52
委員	当日意見	「さばのまち」、「本のまち」、「アートのみち」などいろいろ乱立していてもったいない。場合によっては上手く使えば、日本全国に対して使えるような名前になるはずで、どのターゲットに対してどのレベルで、どうブランディングするかというふうな扱い方を上手くした方がいいのではないか。	53